

あの時0歳だった。今、15歳の真っすぐなまなざし

はるかな夢への道

その一歩を今



あの目から15年。15歳に成長した子をもたちが、まほい光を放っている。自分の信じる道を進み、目の前に立ちほだかる壁に果敢にチャレンジする。多くの人に笑顔を届けたい、人と人をつなぐ懸け橋になりたいと願い、地道に活動続ける。周囲への感謝の気持ちや、生まれ育った古里を元気にしたいという思いも、飛躍の推進力になっている。今はまだ「やりたい自分が見つかっていない15歳もいるかもしれない。でも焦らなくていい。目の前の大きな扉を開こう。その手に無限の可能性を携えて。」



私の歌で世界中の人に
喜びと感動を届ける

仙台市 上杉山中3年
声楽の国際コンクールで最優秀賞
星台 彩愛 さん (15)

12歳で声楽を始め、中学3年間で全国や国際コンクールで最優秀賞を取ることができました。復興支援コンサートに出演したり、復興支援CDに歌で参加したりしています。聞く人の心が少しでも穏やかになり、笑顔届けられたらいいなと思っています。今後の目標は、高校1年で全てのコンクールで1位を取ること。より多くの人に歌を届けたいです。



地域を活気づけられる
プロサッカー選手になる

宮城県女川町 女川中3年
ベガルタ仙台ジュニアユース
福原 義智 さん (15)

サッカーの面白さは点を取ることです。ポジションはFWです。小2の時、友達と一緒にサッカーをしたら楽しくてサッカーを始め、中学からベガルタ仙台ジュニアユースに入りました。高校からはベガルタユースに進みます。結果を残し続けてチームに欠かせない存在になりたい。将来は、地域を活気づけられるプロサッカー選手になります。



誰かに何かを
残せる人になる

宮城県気仙沼市 階上中3年
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 震災語り部
三浦 瑠々 さん (15)

小学生の時に震災の語り部の話を聞き、自分も誰かの記憶に残る話をしたいと思い、語り部活動に取り組んでいます。震災の記憶はありませんが、できる限り自分の言葉で、自分はどう思ったのか伝えられるように努めています。自分が誰かに伝える懸け橋となり、その先の誰かにも伝わり、という、誰かに何かを残せる人になりたいです。



自分を信じて
走り続ける

仙台市 宮城野中3年
全国中学大会陸上男子200mで優勝
クワジオ 大志 ウィリアム さん (15)

陸上は練習した分、速くなっているのを感じるのが楽しいです。一番大きな結果は、昨年夏の全国中学大会の男子 200m優勝。勝った時は喜びよりも先に安心しました。中学2年までは陸上と野球を両立し、野球が好きな気持ちもあります。これから先も、家族や仲間など支えてくれる人たちに喜ばせる活躍をしたいです。自分を信じて走り続けます。



力強い囲碁で
世界を目指す

仙台市 仙台中3年
小・中学校囲碁団体戦の全国大会で優勝
水田 理穂 さん (15)

幼稚園の時に囲碁を始めました。囲碁を通して全国の人々と交流し、自分の知らなかった世界を知ることができています。昨年7月の小・中学校囲碁団体戦の全国大会には宮城県代表として出場し、中学の部で優勝しました。中学生生活の大きな思い出です。高校でも囲碁を続けます。冷静で力強い碁を打ち、個人戦でも良い順位を取りたいです。

— 大きな扉を開く。その手に無限の可能性を携えて —

未来を見据える、五つの光
インタビューのより詳しい内容と
動画はこちらから



「やりたい」ってだけで…、十分じゃねえの？

「楽しそう」ってだけが、入り口なんじゃ

ねえの？ - 宮本大